

高度情報通信社会における学校教育の在り方

学校教育における情報活用の事例研究

讃岐支部研究部

1 はじめに

近年、各教科の様々な領域でコンピュータを利用した学習が進められている。今年度は、新学習指導要領により、従来の技術・家庭科の「情報基礎」領域（選択）や理科、数学でのコンピュータを使用した学習から、技術・家庭科の「情報とコンピュータ」で必修になり、各教科や総合的な学習の時間でコンピュータや情報通信ネットワークなどの活用を図ることが明記された。さらに、教職員研修会でも、コンピュータを活用した研修会も開催されるようになった。

そこで、本年度は、各校でのコンピュータの活用状況や取り組み、現在抱えている

問題点について情報交換を行い、まとめることにした。各校での利用は設備等で異なるが、それぞれ工夫してコンピュータや情報通信ネットワークを授業に活用してきている。その状況を以下にまとめる。

2 研究活動

(1) 4月30日(火)三木中学校

研究テーマの設定

研究組織作り

研究活動計画の立案

(2) 8月9日(金)香川第一中学校

研究討議

ア 1学期の取り組み状況の情報交換

教育ソフトの体験

(3) 10月31日(木)香川第一中学校

研究討議

ア 実践内容についての情報交換

イ 現在抱えている問題点の情報交換

3 各校の利用状況

(1) 各教科等

国語

ア 「フォトストーリーをつくろう」

利用ソフト 映像処理ソフト

文書作成用ソフト

内容 俳句の授業で、デジカメ・イメージスキャナで写真を取り込み、写真にあわせて、俳句を作成する。

理科

ア 「太陽系の惑星について調べよう」

内容 太陽系の惑星の特徴を各自のテーマに従ってインターネットの検索エンジンを利用して、調べ学習をする。

社会科

ア 「日本の諸地域、日本の主権のおよぶ領域」

内容 各自のテーマに従ってインターネットの検索エンジンを利用して、調べ学習をする。

技術・家庭科

ア 「工具の使用方法を調べよう」

内容 校内LANを利用し、技術室にノートパソコン、スクリーン、液晶プロジェクターを置き、そのノートパソコンで、工具の使い方の動画や静止画をインターネット上から直接

閲覧したり，ダウンロードしてあるものを調べる。

- イ 「学校のWebページの更新」
利用ソフト Webページ作成ソフト
内容 選択教科での技術・家庭科で学校のWebページの内容を更新する。

総合的な学習の時間

- ア 「調べ学習」
内容 各自のテーマに従ってインターネットの検索エンジンを利用して，調べ学習をする。
- イ 「まとめ」
利用ソフト 文書作成ソフトプレゼンテーション用ソフト
内容 学習のまとめや発表資料の作成

(2) 障害児学級

- ア 「コンピュータリテラシーの養成」
利用ソフト 文書作成ソフト

(3) 部活動等

- ア 学校のWebページの内容更新
- イ コンピュータグラフィックスの作成

(4) 教員研修

- ア 校内LAN研修
内容 データの共有や成績入力，印刷，インターネットの方法の研修

4 今後の課題

コンピュータによる学習は，生徒の興味・関心も高く，意欲的に取り組む生徒が多い。その面を利用して，各校でも教科等の指導にコンピュータを利用できているが，今後の校内LANの整備に伴い，より積極的に活用していけるようにより情報交換を密にしていく必要がある。しかし，コンピュータ機器の整備状況には学校間格差があり，すなわちそれはコンピュータの利用状況の格差でもある。学校間格差の是正が急務であると同時に教職員の研修会への積極的参加や校内研修，自己研修が大いに望まれる。

生徒が自ら課題を見つけ，試行錯誤を繰り返しながらも，その解決に向けて主体的に学習していく態度の育成にコンピュータは一つ的手段として，大きな位置を占めている。

また，情報通信速度の高速化により，コンピュータを利用しての情報の活用，他校との交流も，今後さかんになると思われる。それらを十分活用するための指導方法の研究や情報モラルの育成，環境の整備等を図っていかなければならない。